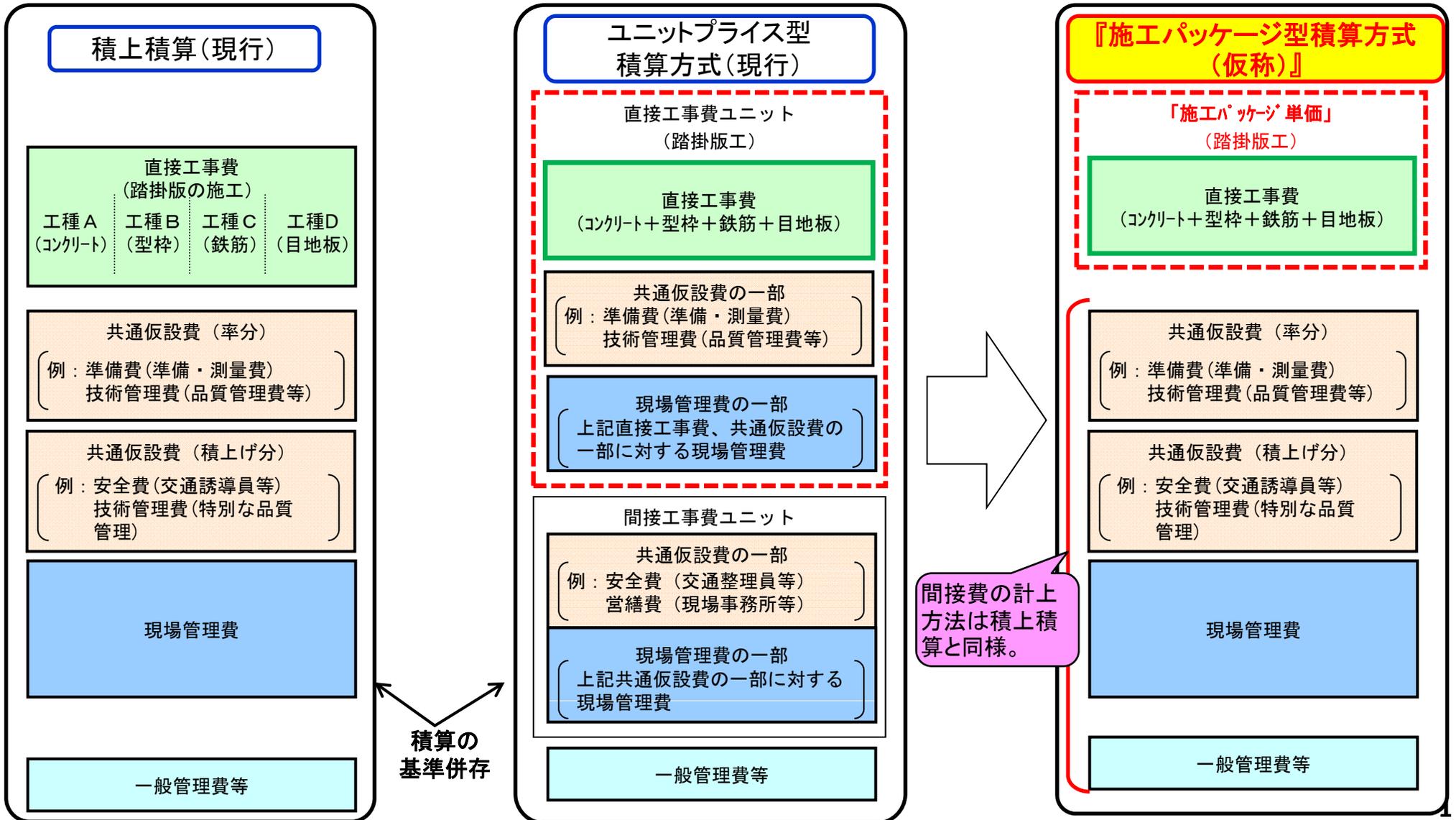
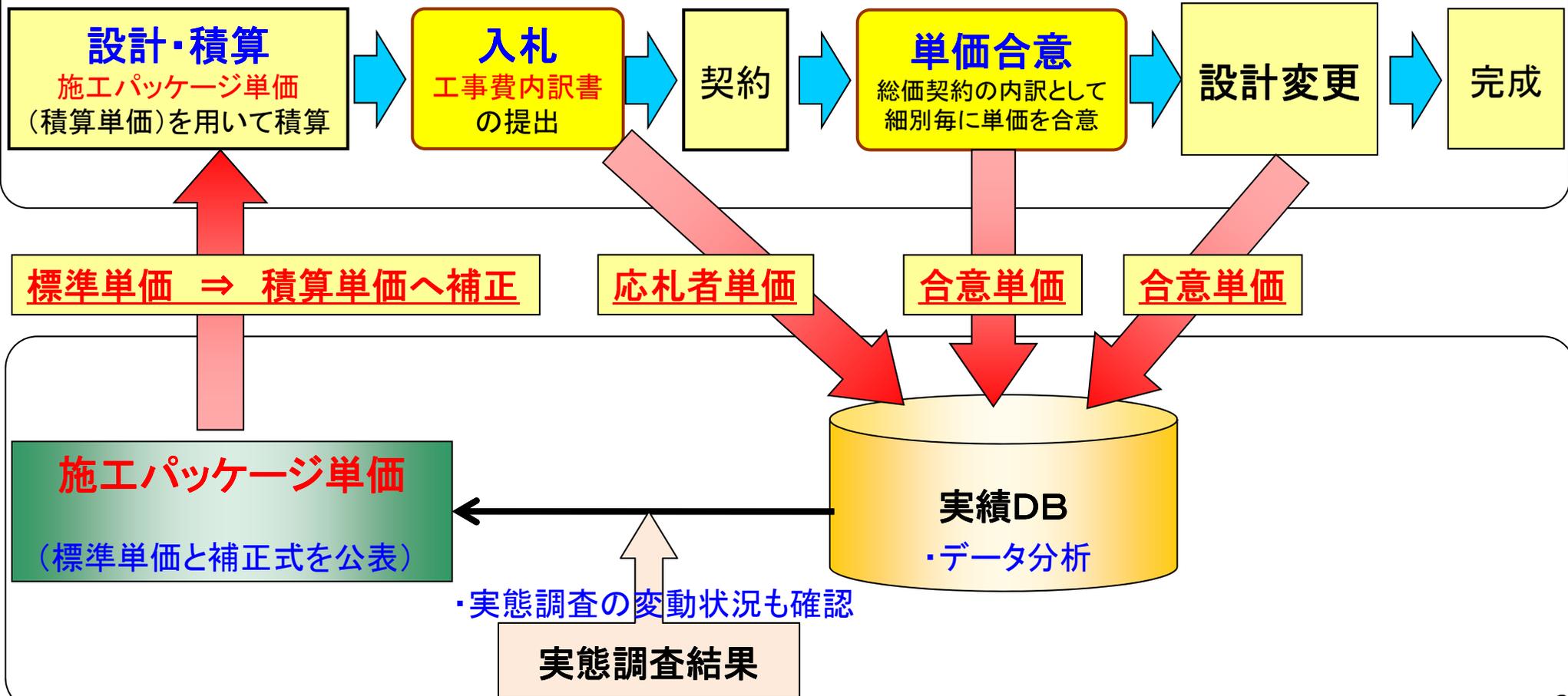


『施工パッケージ型積算方式(仮称)』とは、直接工事費について、施工単位ごとに機械経費、労務費、材料費を含んだ施工パッケージ単価を設定し、積算する方式です。



「施工パッケージ単価」は、受発注者で合意した単価(合意単価)及び応札者単価を活用し、収集したこれらの単価を分析し、複数年の単価傾向や実態調査による実際の施工状況等の変動も踏まえた上で、新たな「施工パッケージ単価」を設定します。

### 契約の流れ



価格の透明性を確保するため、「施工パッケージ単価」は、標準単価と補正式を公表します。「標準単価」から積算を実際に行う地区の「積算単価」には、地域補正及び物価変動による補正を行います。

### 《補正式》

#### H24.10 鹿児島 積算単価

$$= \boxed{\text{H23.9東京標準単価}} \times \left( \boxed{K} \times \frac{\text{H24.10鹿児島機械単価}}{\text{H23.9東京機械単価}} + \boxed{R} \times \frac{\text{H24.10鹿児島労務単価}}{\text{H23.9東京労務単価}} + \boxed{Z} \times \frac{\text{H24.10鹿児島材料単価}}{\text{H23.9東京材料単価}} \right)$$

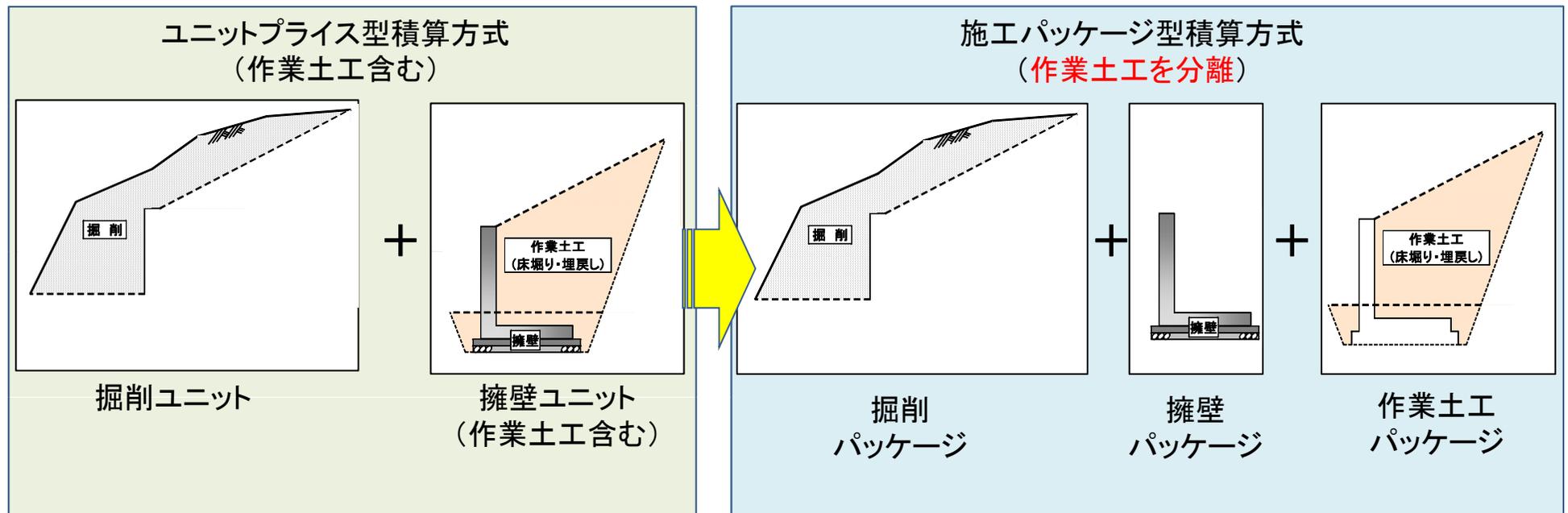
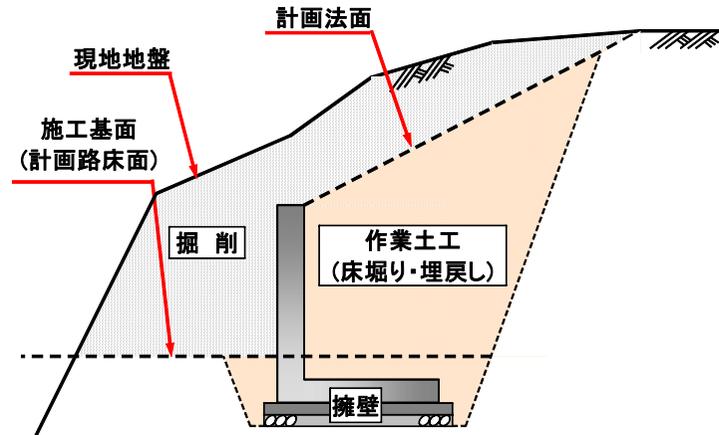
K: 標準単価に占める機械費の構成割合

R: 標準単価に占める労務費の構成割合

Z: 標準単価に占める材料費の構成割合

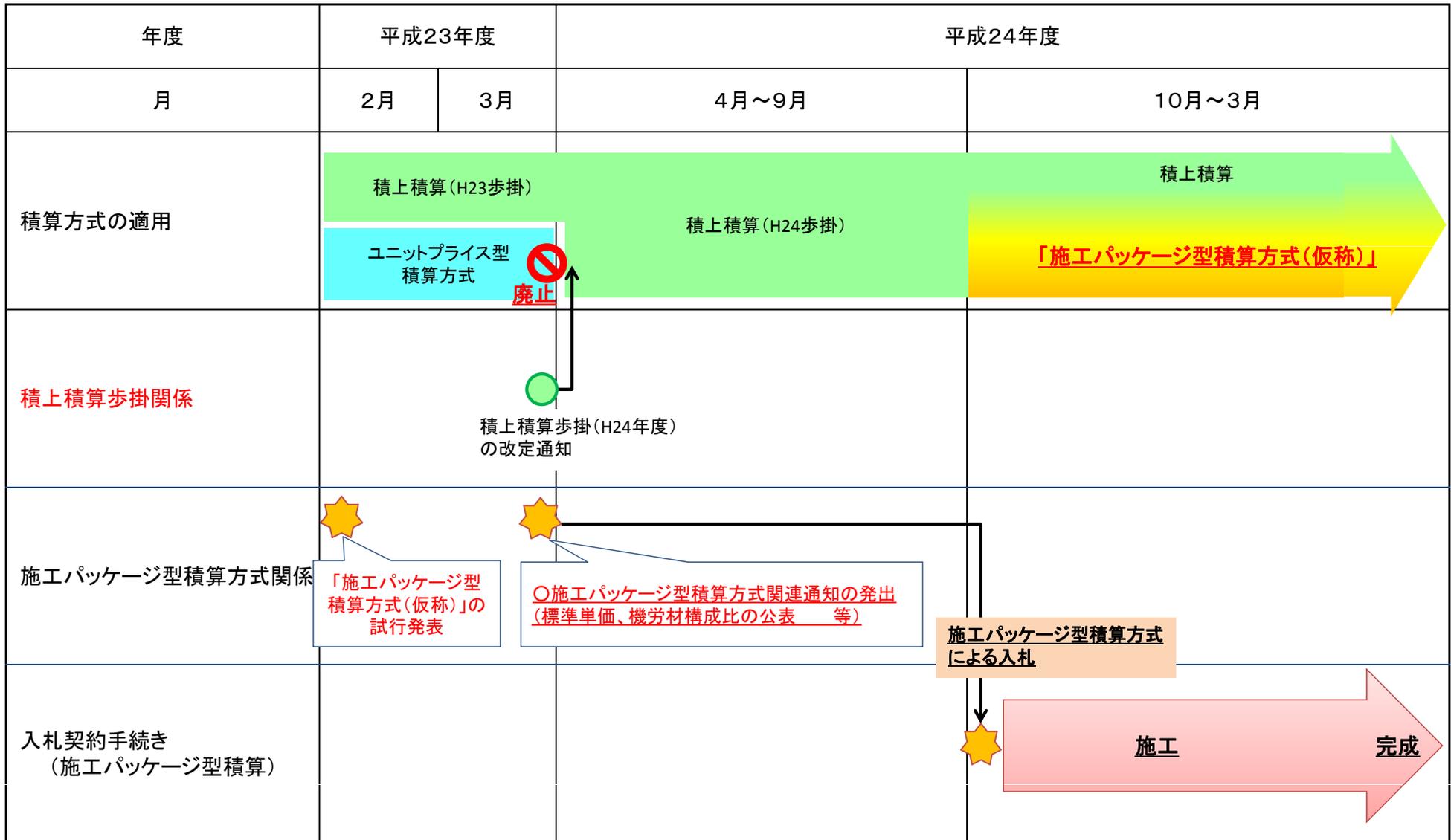
を公表

作業土工の施工量の変動に対して弾力的な変更を可能とするため、数量変動の生じやすい作業土工を分離して、単独で「施工パッケージ単価」を設定します。



# 『施工パッケージ型積算方式(仮称)』の導入スケジュール

資料-5



## H24.10 鹿児島 積算単価

$$= \frac{\text{H23.9東京標準単価}}{\text{H23.9東京標準単価}} \times \left( K \times \frac{\text{H24.10鹿児島機械単価}}{\text{H23.9東京機械単価}} + R \times \frac{\text{H24.10鹿児島労務単価}}{\text{H23.9東京労務単価}} + Z \times \frac{\text{H24.10鹿児島材料単価}}{\text{H23.9東京材料単価}} \right)$$

を公表

K: 標準単価に占める機械費の構成割合  
 R: 標準単価に占める労務費の構成割合  
 Z: 標準単価に占める材料費の構成割合

### 《 補正の実例 》

下記条件における鹿児島H24.10の掘削の積算単価を算出する。

【積算条件】  
 土質：土砂  
 施工方法：オープンカット  
 押土：有  
 施工数量：30,000m<sup>3</sup>未満

【標準単価（公表）】		【機労材構成費・規格（公表）】	
245.1円/m <sup>3</sup>		公 表	
	構成比	規 格	
K	0.5586	ブルドーザ 湿地 排対1次 20t	
R	0.2210	特殊運転手	
Z	0.2204	軽油 1.2号	

$$\begin{aligned} \text{積算単価 (鹿児島 H24.10)} &= 245.1 \times \left[ 0.5586 \times \frac{23,900}{23,900} + 0.2210 \times \frac{17,600}{17,300} + 0.2204 \times \frac{108.5}{109.2} \right] \\ &= \mathbf{245.7 \text{ 円/m}^3} \end{aligned}$$